

福岡市交通事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和3年度下半期（令和3年10月1日から令和4年3月31日まで）における本市高速鉄道事業の業務状況を次のように公表する。

令和4年9月12日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市高速鉄道事業の令和3年度下半期の業務状況
(第96回公表)

目 次

ページ

1	概 況	11
2	事業報告書	12
3	損益計算書	12
4	貸借対照表	13
5	企業債及び一時借入金の現在高	13

1 概況

令和3年度下半期における輸送人員は、定期の利用者が33,493,980人（1日平均184,033人）、定期外の利用者が30,181,639人（1日平均165,833人）の計63,675,619人（1日平均349,866人）で、前年度同期と比べ、5,421,873人（9.31%）の増加となっております。

新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員が大きく落ち込む中において、増客増収の取組みとして、ICカード「はやかけん」電子マネー加盟店の拡充などによるお客様の利便性向上や、感染症予防に配慮した利用促進キャンペーン等の乗客誘致活動を積極的に推進するとともに、広告の販売促進やお客様ニーズに対応した新規店舗の誘致など駅空間の有効活用、収益向上に取り組んでまいりました。

また、建設改良事業では、七隈線延伸事業について安全対策に万全を期しながら令和5年3月の開業を目指し、着実に事業を推進するとともに、営業線改良事業につきましても、施設や車両等の健全性・安全性を確保するため、2000系車両の大規模改修や1000N系車両更新のための新造車両の発注、土木構造物の改良工事、駅照明のLED化等を実施しました。

この結果、当期の経営状況は、約3億円の純利益を計上しました。

引き続き、非常に厳しい経営状況が見込まれますが、今後とも経営の健全化を推進するとともに、安全で快適な輸送サービスの提供に努めてまいります。

2 事業報告書

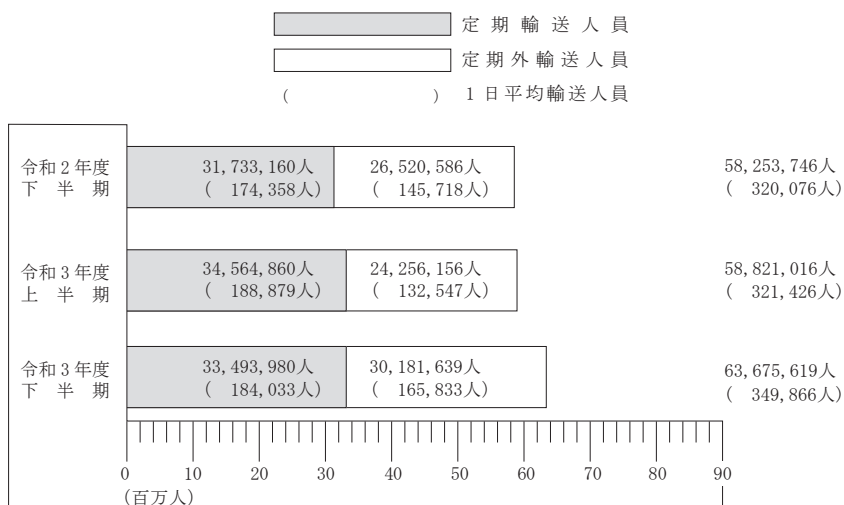
(1) 営業区間及び営業キロ

空港線（1号線）	姪浜	～	福岡空港	13.1キロメートル
箱崎線（2号線）	中洲川端	～	貝塚	4.7キロメートル
七隈線（3号線）	橋本	～	天神南	12.0キロメートル
			合計	29.8キロメートル

(2) 在籍車両数

220両

(3) 輸送人員



3 損益計算書（令和3年10月1日から令和4年3月31日まで）

(単位：千円)

区 分	金 額
総 収 益 (A)	14,682,548
営業収益	11,900,965
営業外収益	2,772,924
特別利益	8,659
総 費 用 (B)	14,334,789
営業費用	12,891,726
営業外費用	1,224,792
特別損失	218,271
差引損益(A)－(B)	347,759

4 貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	356,423,255	固定負債	209,315,807
流動資産	13,000,670	流動負債	37,819,680
		繰延収益	89,489,206
		資本金	134,709,000
		剰余金	△ 101,909,768
計	369,423,925	計	369,423,925

5 企業債及び一時借入金の現在高 (令和4年3月31日現在)

(1) 企業債の現在高

(単位：百万円)

令和3年度 上半期末現在高	令和3年度下半期		令和3年度末 現在高
	発行額	償還額	
226,272	20,671	22,635	224,308

(2) 一時借入金の現在高

なし